資料2

八代市デジタル化推進会議資料

令和４年1月２０日

第３回　八代市デジタル化推進会議

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

1．計画の趣旨・基本方針

少子高齢化、人口減少、自然災害の激甚化、新型コロナウイルス感染拡大など、急速な社会情勢に対応し、先端技術を用いた地域課題の解決に向けて、大胆な変革と新たな価値の創造を進めるために本計画を策定します。

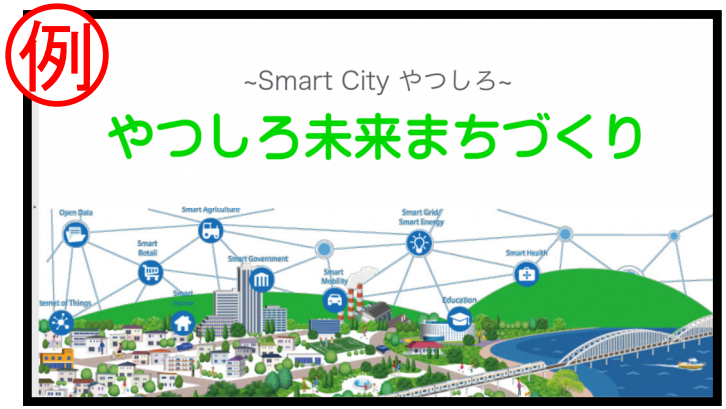
外部環境	社会情勢の変化
少子高齢化　人口減少 自然災害への対応 新しいICTの発展	モバイル端末の普及 新型コロナウイルス感染拡大 行政のデジタル化への要請
国・県の動向	**市の課題**
IT新戦略 デジタル庁の新設 自治体ＤＸ推進計画の策定 デジタル田園都市国家構想	ICTを活用した取組の不足 デジタルデバイド対策

デジタル社会の実現に向けた八代市基本方針

基本理念	「安全・安心で、持続的に発展するまち“スマートシティやつしろ”」	
取組の方向性	地域課題の解決	・人口減少や少子高齢化による労働力の不足や自然災害からの復旧・復興など、本市では様々な課題を抱えています。 進化し続けるＩＣＴ等の先端技術の活用により、あらゆる領域において横断的に、地域課題の解決につなげます。
	行政サービスの変革	・デジタル技術の活用により行政事務の効率化などを進めるとともに、市民目線で分かりやすく、利便性の高い行政サービスへ変革します。また、より多様化・複雑化する市民ニーズにも、対応した行政サービスを提供します。
	協働と連携によるデジタル社会の実現	・デジタル社会の実現に向けて、市民と協働して取り組みます。また、先端技術を持つ企業・大学・高専などや国・県・近隣自治体との連携を図ります。これらの取組を広く波及させることで、誰もが参加し、ゆとりと豊かさを実感できる社会を実現します。

2．目指すまちの姿

行政が積極的にデジタル化を進め、その変化を市内全域に波及させ、先端技術を活用しながら地域課題の解決につなげます。これらの好循環により進化し続ける、将来に渡り持続可能で魅力ある選ばれるまち“スマートシティやつしろ”を目指します。



誰でもデジタルを使えるまち	いつでもどこでもつながるまち	いろんな人が新しいサービスをつくりだすまち

誰でも使える　いつでもつながる　人とまちが変わることで暮らしが変わる

未来へつなぐウェルビーイングライフの実現

3．計画の全体像

計画の位置づけ

総合計画、各分野別計画、八代市重点戦略、八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略などの本市の全ての計画を下支えするものとして位置づけます。

第２次八代市総合計画
総合的かつ計画的な市政運営を推進するための指針

八代市総合戦略
総合計画に掲げる施策のうち、「人口減少克服」「地方創生」に資する施策を推進

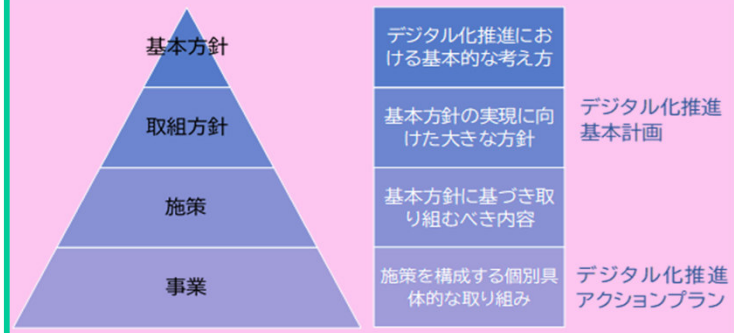
それぞれの分野の個別計画
総合計画に掲げる施策のうち、それぞれの分野の施策を推進

ICT・デジタル技術の活用により各種計画を下支えする包括的なもの

八代市デジタル化推進基本計画
デジタル化に向けたICT施策等を策定

計画の構成

本市のデジタル化を着実に進めるための基本的な考え方や方向性を記載した「基本計画」と、「基本計画」の着実な推進を図るための具体的な取組みを記載した「実施計画（アクションプラン）」で構成します



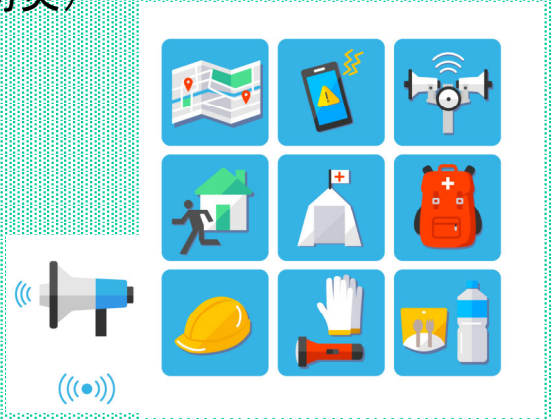
八代市デジタル化推進基本計画　概要版

４．重点取組

重点取組①

大規模災害時等における情報収集・提供体制の再構築及び避難所運営の効率化（防災）

マイタイムライン等のデジタル化、避難所運営などへのデジタル技術の活用や確実な情報伝達体制の再構築など、スマート防災の取組を強化します。



重点取組②

スマートフォンやマイナンバーカードを活用したオンライン申請の拡大、公共施設オンライン予約等、デジタル市役所の推進（市民サービス）

あらゆる行政手続きにおいて、マイナンバーカードの活用し、行政サービスの完全オンライン化を進め、「デジタル市役所」の実現に向けた取組みを推進します。

重点取組③

デジタル技術を活用した医療サービスの提供（医療・保健・福祉）

デジタル技術の活用による医療提供を行えるようオンライン診療など導入の検討を行います。
また、医療機関の配車や患者の診察予約を速やかに行えるようなMaaSの導入も検討します。

重点取組④

稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクトの実施（農業）

新たなスマート農業技術の実証実験を行い、農業従事者との共創による稼げる農業の構築及び担い手確保を図るスマート農業推進プロジェクトを実施します。

5．個別の取組の概要

1．防災分野

住民が自発的な避難を後押しする「デジタル避難スイッチ」の導入

現状・課題

- 地域ごとの情報発信では避難行動に結び付かない場合がある

具体的対応策

- 住民が自ら避難するタイミング（基準）を設定することで避難行動を促す「デジタル避難スイッチ」の導入検討

準天頂衛星等を活用した安否確認システムの導入

現状・課題

- 停電や通信遮断時の安否確認が困難

具体的対応策

- 準天頂衛星や新しい給電技術を活用した安否確認等の仕組みの検討

災害情報共有システムの構築

現状・課題

- 被災現場の情報や防災関係機関の動きの迅速な情報共有に課題

具体的対応策

- 災害情報をリアルタイムで共有できるシステムの構築検討

スマート避難所の導入

現状・課題

- 避難所の長期化や混雑による受付業務や入退室管理の煩雑さ

具体的対応策

- スマート避難所の実証実験

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

2．市民サービス分野

マイナンバーカードを活用したオンライン申請システムの導入

現状・課題

- 申請、届出時には市役所で手続を行う必要がある

具体的対応策

- オンライン申請システムの導入

公共施設のオンライン予約管理システムの導入

現状・課題

- 公共施設の利用者は空き状況の電話確認、現地申込、現金での支払などが必要

具体的対応策

- オンライン予約管理システムの導入

各種税や保険料等の支払へのキャッシュレス決済の拡充

現状・課題

- 口座引き落とし、コンビニ納付、スマホ決済に対応済み

具体的対応策

- オンライン決済を含むキャッシュレス決済の拡充

公共施設等へのWi-Fi整備の促進

現状・課題

- 公共施設のインターネット環境整備の遅れによる観光客等の利便性や災害時の通信確保に課題

具体的対応策

- 公共施設や観光施設におけるWI-FI整備の促進

デジタル機器等の使い方支援

現状・課題

- スマートフォン等のデジタル機器に不慣れな方への対応

具体的対応策

- スマホ教室等の各地域での実施

人にやさしい窓口づくり

現状・課題

- 市役所の新庁舎の開庁

具体的対応策

- 書かない、待たない窓口の実践や非接触型タッチパネルの導入など人にやさしい窓口づくりに向けた取組推進

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

３．医療･保健･福祉分野

デジタル技術等の活用によるスマート医療体制の確立

現状･課題

- 中山間地域の医療資源の不足
- 交通条件による通院の困難性や人口減少による患者減少

具体的対応策

- 移動診療車、遠隔医療機器の導入
- 医療機関の配車や患者の診察予約を速やかに行えるようなMaaSの導入

切れ目のない子育て支援のための情報発信の充実

現状･課題

- 関係機関が持つ母子支援に関するデータを情報共有や情報提供体制の構築することで適切な情報発信が可能となる

具体的対応策

- 必要な情報をタイムリーに提供する母子健康手帳アプリ等の導入検討

オンライン相談システムの導入

現状･課題

- 相談を必要とする方や里帰りが困難な妊産婦が増加

具体的対応策

- 感染リスクを抑えながら対面に近いサポートを行う、オンライン相談システムの導入推進

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

４．農林水産業分野

稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクト

現状・課題

- 農業従事者の担い手確保・育成
- 農業従事者の所得向上

具体的対応策

- スマート農業の推進に向けたリビングラボの実施
- スマート農業技術の実証実験

有害鳥獣対策におけるICT機器の導入・促進

現状・課題

- 有害鳥獣による農林産物の被害の深刻化、広域化

具体的対応策

- 効果検証を踏まえたICT機器等（ロボット、監視カメラなど）の導入促進

スマート林業の推進

現状・課題

- 林業従事者の減少

具体的対応策

- 山地災害箇所等の状況確認や苗木、資材等の運搬へのドローン活用

スマート水産業の推進

現状・課題

- アサリ資源の復活

具体的対応策

- ドローンによる広範囲の漁場調査及び確認用アプリの導入検討

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

５．商工業分野

買い物クーポン券のデジタル化等、地域通貨のDX促進

現状・課題

- クーポン券の迅速な配布
- 民間事業者が実施するクーポン券等との連携による消費効果最大化

具体的対応策

- クーポン券のデジタル化及び地域通貨として流通させる仕組みの構築

商業活性化に向けたECサイトの開発

現状・課題

- 既存商店街の衰退と顧客の高齢化

具体的対応策

- やつしろECサイトの構築

ワンストップポータルの構築

現状・課題

- 求人や移住に関する情報提供がバラバラに行われている

具体的対応策

- 情報を一元化したポータルサイトの整備

地域企業のDX推進

現状・課題

- デジタル技術の導入が進まない事業者が存在

具体的対応策

- 先進的モデルとなる事業者の事例把握と情報共有

DX人材育成研修への参加促進

現状・課題

- 労働力不足による地域経済の縮小
- 情報通信技術等を活用して新たな価値を生み出していくローカルイノベーターが必要

具体的対応策

- プロジェクトを推進するための手法を学ぶことができる「DX人材育成研修」への地元企業社員などの参加促進

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

6．観光分野

観光統計データのダッシュボード化

現状・課題

- マーケティング不足により効果的な取組が実施できていない

具体的対応策

- 様々なデータをグラフィカルにまとめ、一目で理解できるようにするデータ可視化ツールの導入検討

AR・VR技術を用いた体験型観光サービスの構築

現状・課題

- ウィズコロナ、アフターコロナにおける本市の魅力を体験できる仕組みがない

具体的対応策

- 「やつしろバーチャル散歩」を活用したガイドツアーの実施検討

デジタル技術を活用したサイクルツーリズムの推進

現状・課題

- 新型コロナの感染拡大防止を踏まえた新しい観光スタイルとして、アウトドアツーリズムが推進されている

具体的対応策

- 「サイクルツーリズム」に取り組み、サイクルルートマップのデジタル版の作成などデジタルを活用し事業効果の最大化を図る

デジタル技術を活用した観光振興策の推進

現状・課題

- 歴史文化資源の認知不足
- 交通アクセス等の悪さ

具体的対応策

- 歴史文化遺産等のオンラインツアーの開発や日本遺産構成文化財の三次元計測によるデジタルアーカイブ化

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

７．教育分野

EdTech（※）の推進

※EdTech…Education（教育）とTechnology（テクノロジー）を組み合わせた造語

＜八代市EdTech推進計画に基づく主な取組＞

（1）学力向上の推進
- ①　教科等の指導におけるICT活用　デジタル教科書やAIドリル教材等の活用による学力向上に向けた取組の推進
- ②　家庭学習におけるICT活用

（2）不登校対策の充実
- ①　学びの機会の保障のためのICT活用
- ②　児童生徒理解のためのICT活用

（3）情報活用能力の育成
- ①　ICT機器操作スキルの習得
- ②　情報モラル教育の推進
- ③　プログラミング教育の推進

（4）EdTech推進に係る体制づくり・環境づくり
- ①　校務の効率化（働き方改革）の推進
- ②　教職員研修の充実
- ③　専門家及び関係機関等との連携
- ④　ICT機器とネットワーク環境の整備

生涯学習・社会教育におけるデジタル化の推進

＜公民館講座の充実＞
- ・「ITキャリアアップ講座」や「はじめてのスマホ講座」等の開催
- ・「公民館講座WEB版」等の開催

＜電子図書館の利用促進＞
- ・電子書籍のコンテンツ数の増加
- ・電子書籍を閲覧、貸出しができるようなシステムの構築

＜ICT機器とネットワーク環境の整備＞
- ・社会教育施設におけるWI-FI環境の整備
- ・デジタルアーカイブシステムの導入
- ・オンライン予約管理システムの導入

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

８．交通分野

持続可能な公共交通サービスの実現

現状・課題

- 公共交通サービスの維持が困難

具体的対応策

- SNSを活用した利用啓発と定額利用制度の導入
- キャッシュレス決済、AIによる予約・配車システム導入などのデジタル化による効率化の推進

新たな移動ニーズへの対応

現状・課題

- 移動ニーズに対し、不足する移動資源についての対応が必要

具体的対応策

- 人の移動に関するデータをオープンデータとして提供
- 自家用有償旅客運送の導入やレンタ（シェア）サイクルなどの導入検討

物・サービスの移動による利用者ニーズへの対応

現状・課題

- 中山間地などでは、利用できる公共交通サービスが少なく、買い物や医療や理容・美容のサービスを受けることが不便

具体的対応策

- 路線バスや乗合タクシーを利用した貨客混載による買い物ニーズへの対応
- 医療MaaSの導入検討
- 理容・美容などのサービスを利用希望者のもとに届けるサービスの検討

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

９．行政分野

「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」で定められた重点取組事項

自治体の情報システムの標準化・共通化

・国における「(仮称)Gov-Cloud」の構築状況にあわせて、クラウド活用を原則とした標準化・共通化に向けて取り組みます。

マイナンバーカードの普及促進

・商業施設に開設したマイナンバーカード申請受付センターの活用や企業等へのカード取得への働きかけを行います。
・行政手続き、入退出管理、会議室等へのカードキーとしてのマイナンバーカードの活用を検討します。

自治体の行政手続のオンライン化

・各種証明書のオンライン申請システムの更なる充実の他、公共施設オンライン予約やキャッシュレス決済の拡充なども含めて、ワンストップで、かつ、いつでもどこでも手続ができるよう取り組んでいきます。

自治体のAI・RPAの利用推進

・導入済みのRPAについては、さらなる導入効果の拡大を図っていきます。
・AIチャットボットの共同導入を推進するとともに、その他のAI技術の活用についても、費用対効果を考慮しながら導入の検討を進めていきます。

テレワーク及びオンライン会議の促進

・テレワークデイに関する職員への周知・啓発や意識改革を促し、庁内全体でテレワークを実施する環境を整備します。
・オンライン会議を実施するための環境整備を促進するとともに可能な限り今後も実施していきます。

セキュリティ対策の徹底

・情報セキュリティに関する法令・ガイドライン等に基づき、適切な運用体制を確保するほか、「八代市個人情報保護条例」に基づく適切なデータの運用を図ることとし、データ活用に係る地域住民の不安の払拭に努めます。

BPRの取組みの徹底（書面・押印・対面の見直し）

・自治体の情報システムの標準化・共通化にあわせ、標準化の対象となる事務においては、システム機能にあわせた業務フローの抜本的見直しを行っていきます。

オープンデータの推進

・「市にしか提供できないデータ」、「様々な分野での基礎資料となり得る信頼性の高いデータ 」、または「リアルタイム性を有するデータ」等の社会的ニーズが高いと想定される有用なデータについては、積極的に公開に取り組みます。

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

6．計画策定・推進組織・体制

策定体制

行政内組織の八代市デジタル化戦略会議が策定方針や素案を作成したうえで、八代市デジタル化推進会議及びやつしろ×tech（クロステック）コンソーシアムからの意見や提言を踏まえ策定しました。

八代市デジタル化推進会議

本計画の策定、改定等に関し必要な事項を検討し、市長に対して提言を行う。
市民や有識者など15名以内の委員で構成。

やつしろ×Tech(クロステック)コンソーシアム

市が策定するデジタル化推進計画に盛り込む施策案に関して、専門的知見から助言を行うとともに、地域課題に対する事業提案やプロジェクト化に向けた取組等を行う。
準公共分野等の団体によって構成。

意見・提言 ↓ ↑ 策定方針や素案の提示

意見・提案 ↓ ↑ 素案や施策の提示

八代市デジタル化戦略会議

本計画の策定にたって、地域及び行政課題の整理、課題解決に有効なデジタル技術の特定、計画素案の策定を行う庁内組織。
政策審議監及び関係部課長等で構成。

推進体制

本計画の推進にあたっては、市長を本部長とする八代市デジタル化推進本部が中心になって、全庁をあげて推進します。

八代市デジタル化推進本部

本部会議
- 本部長：市長
- 副本部長：副市長
- CDO：政策審議監
- 本部員：教育長、議会事務局長、各部（公室）長等

幹事会
- 幹事長：政策審議監（CDO）
- 幹事：各部（公室）次長

八代市デジタル化戦略会議
- 会長：政策審議監（CDO）
- 構成員：関係部課長等

タスクフォース
本部長が指名する職員

進捗状況報告 ⇔ 提言

八代市デジタル化推進会議

＜構成員（15名以内）＞
デジタル化に関して識見を有する者

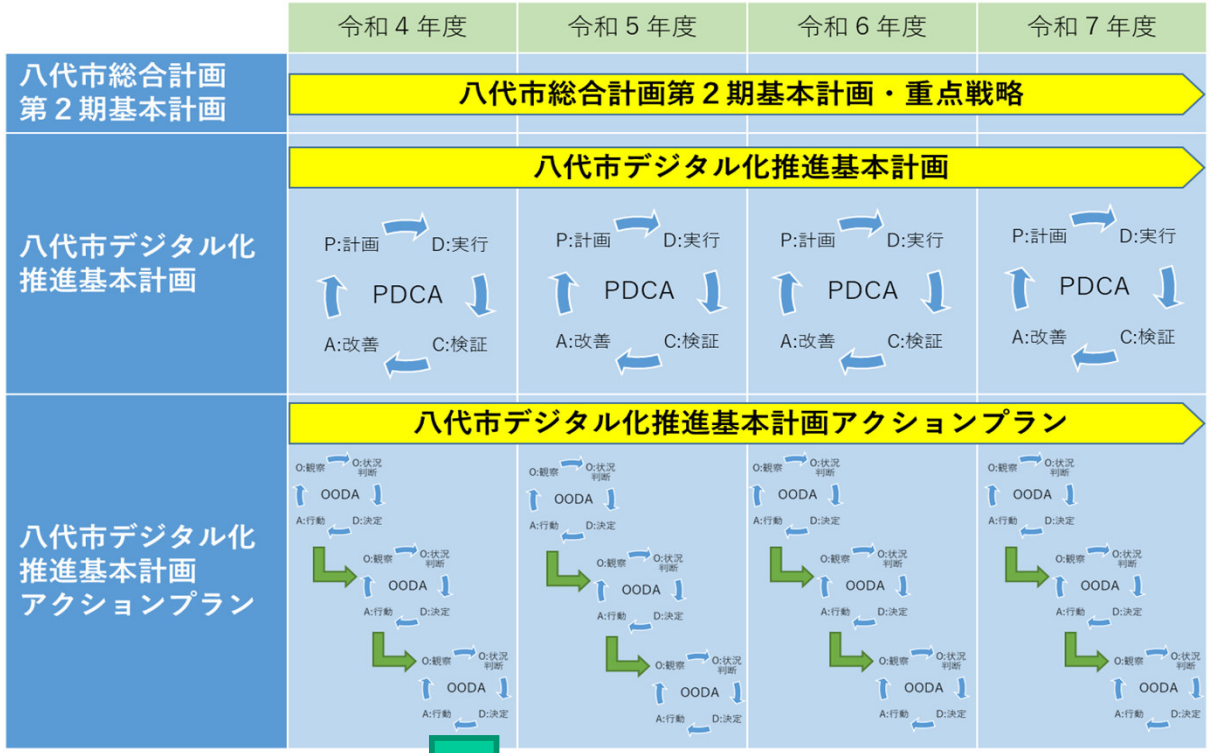
＜役割＞
デジタル化に係る計画の策定、改定等に関する提言

八代市デジタル化推進基本計画　概要版

7．進捗管理の概要と人材育成

進捗管理

本計画に基づく実行計画（アクションプラン）を策定し、PDCAサイクルとOODA（ウーダ）ループを用いて、効率的かつ実効的に実施していきます。



Observe（観察＝みる）	状況を観察し、情報収集をするフェーズ 例：HPの閲覧数が前年同月より１０％減った
Orient（状況判断＝わかる）	収集した情報を基に仮説を構築するフェーズ 例：先月からHPのレイアウトを変更した影響？ or　掲載記事数が前年より少なかったから？
Decide（決定＝きめる）	構築した仮説を基に意思決定を行うフェーズ 例：レイアウトをいったん元に戻す or　掲載記事数を増やしてみる
Act（行動＝うごく）	決定したことを実行に移すフェーズ 例：掲載記事を増やして翌月も観察する ⇒次のループへ

人材育成

デジタル化を推進していくためには、職員それぞれの職務に応じた、デジタルツールの活用スキル、課題解決力、マネジメント能力が求められることから、各職階に応じた標準的な知識を習得するために効率的かつ効果的な研修体系を構築し、DX人材の育成を図ります。

役職	求められる役割
部長・次長級	・横断的な視点からデジタル化施策・事業の提言や支援 ・デジタル化施策の評価・調整 ・部（公室）内のDXの推進
課長・課長補佐・係長級	・所属職員のDX人材としての育成・指導 ・部署内の情報資産の管理・監督 ・デジタル技術を活用した施策の立案
DX推進員	・デジタル化に関する知識の普及や技術の啓発 ・デジタル技術を活用した業務改善 ・データに基づく事業見直し